硬貨の 確率

中2／解き方プリント 項目4／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 硬貨 1枚ごとに 表・裏の 2通り。枚数が ふえたら 2 を かけて 数える（2 × 2 × 2 = 8通り）。たし算は ×
きまり② 確率 = 合う 出方 ÷ 全部の 出方。金額の 問題は、表が 出た 硬貨の 合計を 書き出して 数える
きまり③ 「～円以上」は ちょうどの 金額も 入れ、「～円未満」は 入れない。表が 1枚も 出ない ときは 合計 0円

れい 硬貨3枚を 同時に 投げる。全部の 出方は 2 × 2 × 2 = 8通り。3枚とも 表は 1通り → $\frac{1}{8}$

◯ 全部の 出方は 2 × 2 × 2 = 8通り

× 全部の 出方は 2+2+2 = 6通り

・「硬貨」の 問題。くじ・玉・さいころ・硬貨は どの 結果も 同じ 程度に 起こる ものと する。大問1～3は、答えを 四角に 書く。確率は 約分した 分数で、場合の数は 数だけを 書く（大問4の 正しい 答えも この 書き方）。
・大問4は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 全部の 出方

(1) **硬貨2枚を 同時に 投げる。**

全部の 出方 ＿＿＿＿ 通り

(2) **硬貨4枚を 同時に 投げる。**

全部の 出方 ＿＿＿＿ 通り

大問2 表が 出る 枚数の 確率

硬貨3枚を 同時に 投げる。表が ちょうど 2枚 出る。

全部の 出方 ＿＿＿＿ 通り　合う 出方 ＿＿＿＿ 通り　その 確率 ＿＿＿＿

大問3 合計金額の 確率

5円・10円・50円の 硬貨を 1枚ずつ 同時に 投げる。表が 出た 硬貨の 合計が 55円以上に なる。

全部の 出方 ＿＿＿＿ 通り　合う 出方 ＿＿＿＿ 通り　その 確率 ＿＿＿＿

大問4 答案を 調べて 直す

(1) **さくらさん「硬貨4枚を 同時に 投げる。表が ちょうど 1枚 出る 確率。**
全部の 出方は 2+2+2+2 = 8 通り。合う 出方は 4 通りだから 確率は $\frac{1}{2}$」

正しい　まちがい

正しい答え ＿＿＿＿

(2) **けんたさん「10円・50円・100円の 硬貨を 1枚ずつ 投げる。表の 合計が 110円以上に なる 確率。**
全部の 出方は 2 × 2 × 2 = 8 通り。合う 出方は 3 通りだから 確率は $\frac{3}{8}$」

正しい　まちがい

正しい答え ＿＿＿＿

見直し □ 全部の 出方は かけ算 □ ちょうどの 金額の 組を 数えた □ 以上・未満の 境目を 見た まちがい（ ）問

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「確率」のプリント一覧がひらきます

硬貨の 確率【こたえ】

中2／解き方プリント 項目4／目標 15分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

きまり① 硬貨 1枚ごとに 表・裏の 2通り。枚数が ふえたら 2 を かけて 数える（2 × 2 × 2 = 8通り）。たし算は ×
きまり② 確率 = 合う 出方 ÷ 全部の 出方。金額の 問題は、表が 出た 硬貨の 合計を 書き出して 数える
きまり③ 「～円以上」は ちょうどの 金額も 入れ、「～円未満」は 入れない。表が 1枚も 出ない ときは 合計 0円

れい 硬貨3枚を 同時に 投げる。全部の 出方は 2 × 2 × 2 = 8通り。3枚とも 表は 1通り → $\frac{1}{8}$

◯ 全部の 出方は 2 × 2 × 2 = 8通り

× 全部の 出方は 2+2+2 = 6通り

大問1 全部の 出方

(1) **硬貨2枚を 同時に 投げる。**

全部の 出方 [4] 通り

(2) **硬貨4枚を 同時に 投げる。**

全部の 出方 [16] 通り

大問2 表が 出る 枚数の 確率

硬貨3枚を 同時に 投げる。表が ちょうど 2枚 出る。

全部の 出方 [8] 通り　合う 出方 [3] 通り　その 確率 [$\frac{3}{8}$]

大問3 合計金額の 確率

5円・10円・50円の 硬貨を 1枚ずつ 同時に 投げる。表が 出た 硬貨の 合計が 55円以上に なる。

全部の 出方 [8] 通り　合う 出方 [3] 通り　その 確率 [$\frac{3}{8}$]

大問4 答案を 調べて 直す

(1) **さくらさん「硬貨4枚を 同時に 投げる。表が ちょうど 1枚 出る 確率。**
全部の 出方は 2+2+2+2 = 8 通り。合う 出方は 4 通りだから 確率は $\frac{1}{2}$」

正しい　(まちがい)

正しい答え [$\frac{1}{4}$]

(2) **けんたさん「10円・50円・100円の 硬貨を 1枚ずつ 投げる。表の 合計が 110円以上に なる 確率。**
全部の 出方は 2 × 2 × 2 = 8 通り。合う 出方は 3 通りだから 確率は $\frac{3}{8}$」

(正しい)　まちがい

正しい答え [同じ]

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) 2 × 2 = 4 通り。(2) 2 × 2 × 2 × 2 = 16 通り。2+2+2+2 = 8 などの たし算は × 。

大問2 全部の 出方は 8 通り。表が ちょうど 2枚は、(表表裏)・(表裏表)・(裏表表) の 3 通りで、確率は $\frac{3}{8}$。

大問3 全部の 出方は 8 通り。合計が 55円以上に なるのは 55・60・65円 の 3 通り（50円と 5円の 55円も 入れる）。確率は $\frac{3}{8}$。

大問4 (1) は まちがい（正しい 答えは $\frac{1}{4}$）。4枚の 全部の 出方は 16通りで、8通りではない。(2) は 正しい（「同じ」）。110円以上は 110・150・160円 の 3通りで、ちょうどの 110円も 入れている。

別解の 扱い: 確率は 約分した 分数（上下でも 斜め線でも ○。小数・百分率・約分前は × ）。場合の数は 数だけ（「通り」は あっても ○）。